

だんだん便り

発行：一般社団法人だんだん会

責任者：宮崎和加子

第49号

2021年11月10日



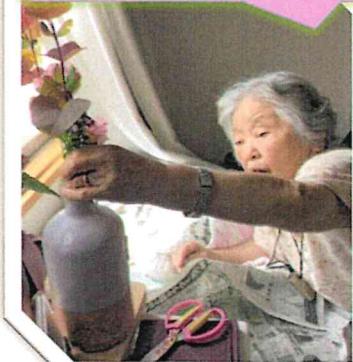
今年も出番を待っています

からまつ会 小村君枝 (北杜市高根町)

グループホームわいわい白州・摩利支天

尾白ホームに9月から新しいメンバーが入りました。Welcome to our Home ! (金城パトリシア)

生け花が大好きです。ぜひ
一緒にしましょうね♡



よく囁んで、
ゆっくり食べ
ましょうね♡



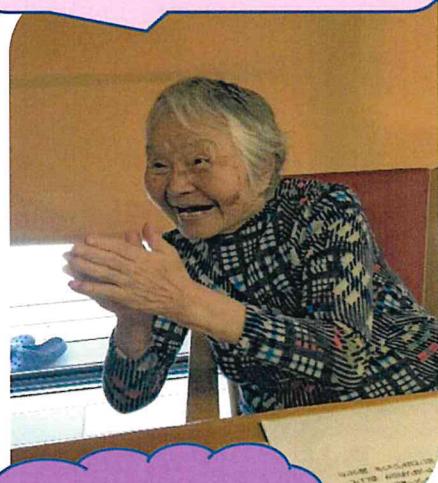
生まれは美唄です。よろしくお願ひ
いたします。



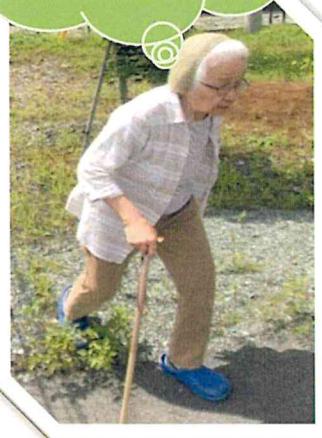
綺麗に服をたたむのは
気持ちいいですね。
よろしくね！



初めまして。
10月から新しく入居しました
毎日笑顔で過ごしましょう！
よろしくお願ひします!!



体が動かすのが大
好きです。一緒に
散歩しましょうね



本を読むのが大好きです。
一緒に本を読もうね！



テレビと一緒に
見ませんか？



4年半ここで暮らして
います。よろしく！！



オレンジサロンわいわい白州・長坂

季節外れですが・・・チューリップが咲きました！



月に一度の短時間開催のサロンです。
折り紙もプログラムの一つです。
今回、ボランティアが準備したのは「チューリップ」でした。
折り紙は、手を動かしながらおしゃべり
もできるので楽しい時間です。
ですが今回は、皆さん言葉少なく集中して
います。なかなか難しいのです！
でも皆さん完成しました。テーブルの上
には色とりどりのチューリップが咲きました。写真は悪戦苦闘の結果です。

「今日は何の日？」から
始まるサロンです。



オレンジティイほかほか

<運営推進会議開催報告>

通所ディ（地域密着型）ほかほかの運営推進会議が開催されました。

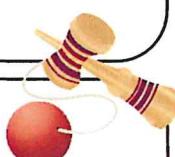
利用者さん、ご家族、地域の方、保険者を交えて開催されました。

会議ではコロナ禍で地域との交流がはぐくめないが、地域の公民館行事への参加や法人の専門職を講師として地域に派遣するなどの提案がされ積極的に協力をしていくことになりました。

また、災害時対応として地元消防団との情報交換を早速に開催いたしました。



ある日のほかほか
ちょっと賑やかにゲームをしましょう！
緊張感・バランス感覚・腕の機能維持改善等、気分が高揚
し、気分転換にもなり、意外な力が発揮できることを発見しました。そのことをゲーム終了後に確認しました！



わがままハウス山吹（支援付き共生すまい）

牧師 浅見正一氏 わがままハウス山吹で逝く

日本福音ルーテル教会元牧師浅見正一氏が9月7日に逝去されました（91歳）。長い人生の最後の時期を『わがままハウス山吹』で過ごされ、みなさんに愛し愛され、この世での素晴らしいその生涯を閉じられました。

父から届いた贈り物

浅見信人

昨年末に突然と体調を崩し歩くことも食事をすることも困難となった父は、長男の妻が勤務しているだんだん会との縁で「わがままハウス山吹」にひとり生活の拠点を移すこととなった。キリスト教の牧師として長く働いてきた『日本福音ルーテル教会』系列の老人ホームへの入居を望んでいた父ではあったが、実際に家族と離れてみるとそれはなかなか受け入れ難い不条理な現実として本人を混乱させ、食事を拒んだり拗ねたり機嫌を損ねたりと随分と山吹のスタッフの方々に面倒を掛けてしまった。

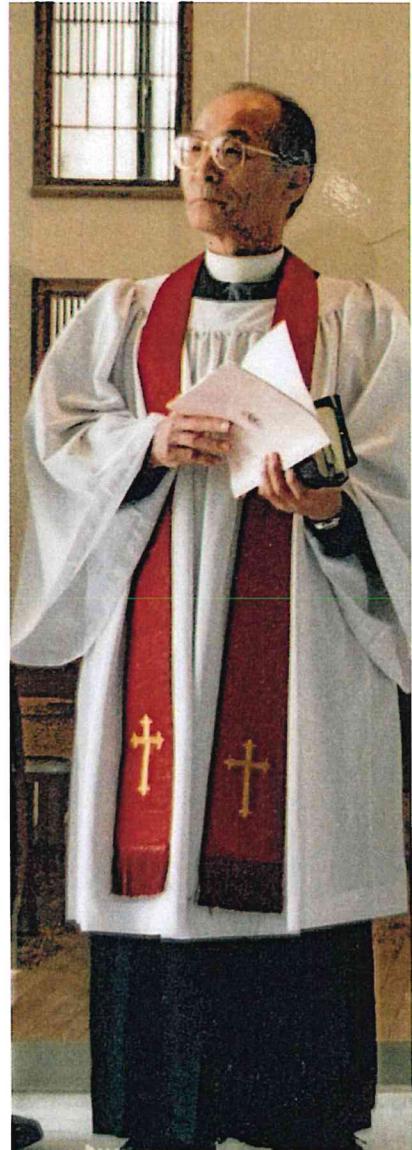
そのまま不機嫌な老人として一生を終えることも有り得たのだが、スタッフの方々からの心のこもった暖かいケアと交わりを通して、他の入居者さんたちからの声掛けを受けて、心身ともに復活した。もちろん当人の人間力もあったと思う。信者の方々に真摯に向き合い常に愚直なまでの誠実さで寄り添おうとした父だったから、人生の最終局面に置かれた自身をさえ自分で支えようと努めたのだろう。

若かりし頃、大病を患い絶望しきってキリスト教会の扉を開いてから始まった信仰者の道。最後の最後まで苦難を受け容れようとしたその姿に身内とはいえ人として心を打たれ学ばされた。

最後の一週間を交代で泊まり込んで看護していた私の妻には「最期の刻」それがいつ訪れるかが判ったようだ。翌日に泊まる予定の長男が呼び寄せられ、父は息子に抱きしめられながら息を引き取った。牧師服に着替え手を祈りの形に結びベッドに横臥する姿を目にして、弔間に部屋を訪れた入居者やスタッフの方々が「静かな綺麗な顔だ。いつまでも見ていたい。見飽きない」と言って下さった。遺された家族にとってこんな嬉しい言葉はない。本人の遺志により医学部へ献体することが決まっていた。

召天（キリスト教で神に召されたの意）の翌日に大学から迎えの車が来る手筈となっていたのだが到着した途端に天候が一転。突然と激しく雨が降り出した。冗談で人を笑わるのが好きだった故人の最期のいたずらだと微笑ましく感じながらも涙が溢れた。

父の死を知った方々から手紙が届く。それぞれに父との思い出と哀しみが綴られていて読み返す度に文面から父が立ち現れる。夜中の電話に何時間でも相手の話に耳を傾けていた父。死の淵にいる方に請われて祈るために駆けつける父。子供礼拝の後、幾重にも幼児たちにしがみつかれた父。親子関係ではもちろん綺麗ごとばかりではないが、不信心な息子も今はこうして素直に父の生き様に胸を打たれ人生の師として父を想える。そんな生き方を示してくれたことは父からの最高のギフトだと感謝している。



わがままハウス山吹（支援付き共生すまい）

何事も時があり 天の下の出来事には すべて定められた時がある。—コヘルトの言葉 3.1—

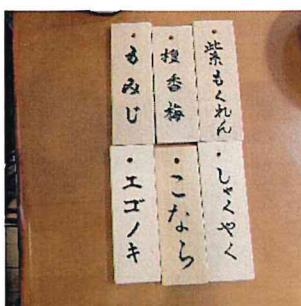
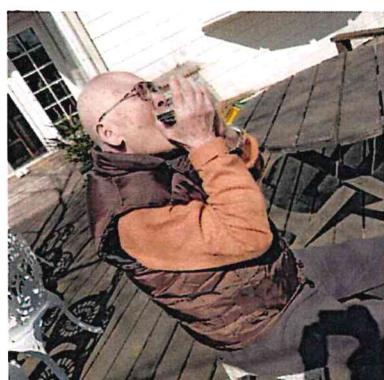
浅見さんが『わがままハウス山吹』で過ごされるようになられてから、私ども、又私にとってはありがたい日々でした。浅見さんのいろいろな表情が私の心に深く刻まれています。うつろな日は「死にたい 死にたい」「そろそろその時期はきている」とつぶやき、晴れやかな日は、コーヒ一片手にバッハに耳を傾け瞑想。カッコウの泣き声を聞くと、♪静かな湖畔の森の陰から～♪と私たちと輪唱。「音がはずれているよ」と何回も手ほどきを受けました・・・等、悲喜こもごもな日々。

といったん口が開くと次から次へとほとばしる博識ぶり。冗談好き！ 介助の手が必要となると「ごめんね、ごめんね、ありがとう」とねぎらって下さるお心。もう旅立ち近き夢現み時（ゆめうつみどき）「僕はこわいオオカミだ」と冗談っぽく。「それじゃ遠吠えをお願いします」と耳元でささやくと、「ウオオ～～～」と生き絶え絶えながら。。。

大地に深く根をはり、彩られた枝葉が“裏をみせ表をみせ散るもみち”的ごとく、正直、素直な人間味あふれるお人柄でした。大木の中心は牧師そのものであられました。

浅見牧師様 誠にありがとうございました。

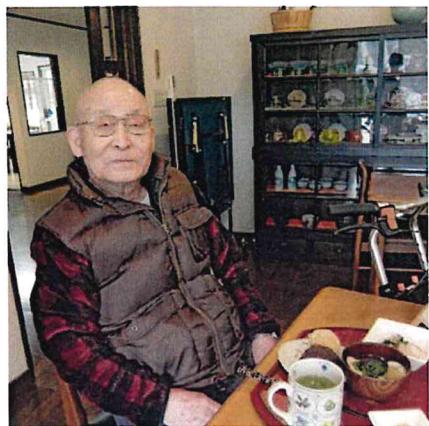
(職員 三宅映子)



庭の木に名札を。
みんなで作業中。
浅見氏は達筆。
浅見氏の作品です



ハーモニカを演奏



- ・1930年東京に生まれる
 - ・神戸聖書学院に学んだ後ルーテル教会神学校に進む
 - ・1960年結婚し日本福音ルーテル教会の牧師として広島県三原市に赴任
 - ・その後、札幌教会、甲府教会に転勤
- 甲府時代には4年間日本福音ルーテル教会の総会議長を務める（1994年～1997年）
- ・2000年甲府教会で定年を迎える山梨県南アルプス市に居を構える
 - ・定年後も九州教区大分教会、北海道特別教区恵み野教会に請われて牧師として単身赴任する
 - ・2021年9月7日没

わがままハウス山吹（支援付き共生すまい）

新人の私に「安心しているよ」と

『寄り添いスタッフ』として勤務していた私が介護の資格を取ったのは、7月のことです。資格を取りはしましたが、100%前向きな気持ちではありませんでした。自分に向いているのか、やっていけるのか。介護スタッフとして働き始めた8月、浅見さんは毎日の生活の中で、スタッフの手を借りることが多くなってきました。『寄り添いスタッフ』として働いていた時とは違う視点で、先輩達の動きを見て勉強しました。他で経験がない私は、You Tube の介護動画も見ました。

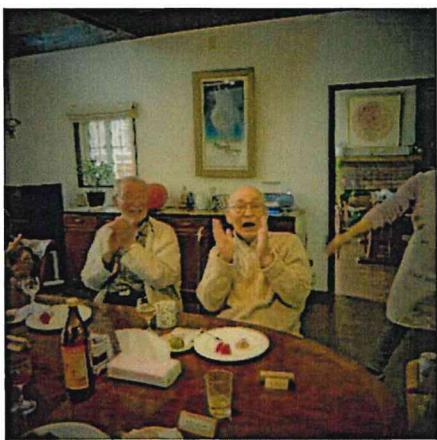
8月末にターミナルケアの時期になりました。毎日の勤務が緊張でした。先輩に不安を打ち明けると、「大丈夫よ。あなたが出来ることを精一杯すればいいのよ」と励ましてくれました。

清拭やオムツ交換もスムーズにできない私が、浅見さんに「ごめんね、浅見さん。今日の当番が私のような未熟者で」と言うと、「そんなことない。安心しているよ」と言って下さいました。また痰がからんで苦しいように見える時でも、満面の笑みを見せてくれます。

“人様の最期をお世話させて頂けるって、こんなに素晴らしい事なんだな。こんな仕事、他にないな”とつくづく思っています。

手を握る、笑顔で接する、優しい言葉をかける。当たり前のことですが、何て愛のある接し方だろうと、先輩たちを見て毎日思っていました。

(職員 根木三香)



「マーちゃん」「久美ちゃん」と呼び合う仲

浅見正一（まさかず）さんと私（吉田久美子）は、どういうわけか「マーちゃん」「久美ちゃん」と呼び合うようになっていました。「久美ちゃん、久美ちゃん」と愛情たっぷりに声をかけてくださいました。

浅見さんと始めてお会いしたとき、ほっと包み込むような笑顔にほっこり。私も思わず満面の笑顔になっていました。はじめは、病院でも介護施設でもない、「わがままハウス山吹」で男性一人、女性9人の共同生活に戸惑っていらしたけれど、春の日差しの中、ウッドデッキでハーモニカを吹いて下さったり、入居者さんの話に耳を傾け、ほんわか笑顔で答えている浅見さんの元気な姿が見られるようになりました。

妹さんからセーターが送られてきた時、「一番仲の良い妹なんだよ。いつも気にかけてくれるんだ。」と満面の笑顔。兄弟、家族の話をする時の浅見さんも満面の笑顔。息子さんが買ってくれたという歩行器に息子さんの名前を張って、そっと撫でながら、「大事なんだ」とはにかむような笑顔で振り向いた浅見さん。「私は山吹一番の力持ちなの！」というと、「よし、腕相撲で勝負しよう！」と。早速、二人で勝負。左手の互角の戦いに「なかなかやるねえ」とにっこり…

本当に浅見さんの笑顔は素敵でした！ お茶目で、ほんわか、元気になる笑顔。私も、そんな笑顔で山吹の皆さんのが元気に過ごせるよう、もう少し頑張ろうと思います。

(職員 吉田久美子)

「家で大丈夫だよ」

地域看護センターあんあん 浅見玲子

「私ね、うまく言えないからあの日の朝のことをね、短歌にしてみたの」

そういうって静かに短歌を詠んでくださったのは、深沢ゆきこさん（仮名）です。

*

深沢幸子さんのご主人、雄一さん（仮名：77歳）に緊急で訪問看護に入ってほしいと在宅医師から連絡が入りました。重症の肺梗塞（肺の血管がところどころ詰まっている危険な状態）で毎日点滴が必要になったからです。

数年前から脳梗塞などの病気も重なり入退院を繰り返していた雄一さんを自宅で介護していた幸子さんは、今回も自宅で看るか、病院に入院させるか迷っていました。

*

訪問初日の日、「新型コロナウイルスで入院したら会えないから。私はここで最後まで看到いの」そう話す幸子さんの次の言葉に驚きました。

「私、全然目が見えてないのよ」

雄一さんのベッドサイドでご様子をみながら幸子さんとお話ししていた私は思わず「ほんとうに？全く？ですか？」伺うまでは幸子さんの立ち居振る舞に見えていないことなど想像もできなかったからです。目のご病気で中年を過ぎてから全視力をなくされたので住み慣れたご自宅や近隣にある畑などでは自由自在に動けると話してくださいました。

*

「幸子さんがご自宅で最後まで看到いのあればそうしましょう」私はすぐに在宅医師とケアマネージャーに連絡。定期巡回で導入して一日3回支援に介護職が入り食事支援（食事の準備と介助）、内服管理、排泄ケア。看護師は一日2回医療的支援に入ります。そして緊急時の対応。

*

「知らなかつた、こんなに手厚く看てもらえるなら病院と同じように安心して過ごせる」と幸子さん。幸子さんは、とても明るくお話し好きな方なので頻回に介護士や看護師がきてもいつも welcome。雄一さんも寝たきりではありましたが支援者と幸子さんの会話を聞きながら安心して過ごされているようでした。夜は幸子さんが一人になりますが、近隣に住む息子さんや娘さんたち、お孫さんたちが食事を運んでくれたりして協力体制もばっちり！家族との大切な団欒の時を過ごしました。

雄一さんは、一度は回復して状態も良くなつたのですが、支援を開始して18日目に急変し昏睡状態に。そして最後の日、夜が明けるころ幸子さんはだんだん雄一さんの息の音が弱くなっていくことに気づき、雄一さんとしっかりと手を握り合い、命の終いを全身で受け止められたのだと思います。

*

幸子さんを五十日祭の数日前にお訪ねしました。

「私がね、探し物をしているとふと探しものが手に触れたり、日が暮れたことも気づかないで畑にいると近所の人が声かけてくれたりするのだけど、いつもお父さんがね（雄一さん）後ろにいて私を見ていてくれて助けてくれてる感じがするの。子どもや孫たちも助けてくれるし。私は、大丈夫。最後まで家で看ることができ本当によかったです。『てくてくさんやあんあんさんのおかげ。でもみなさんのようなサービスを全然知らなかつた。だから近所の人にも話しているの。家で大丈夫だよって』

水飲みて呻くことなくただ眠り
握る手硬く看取りの夜明け

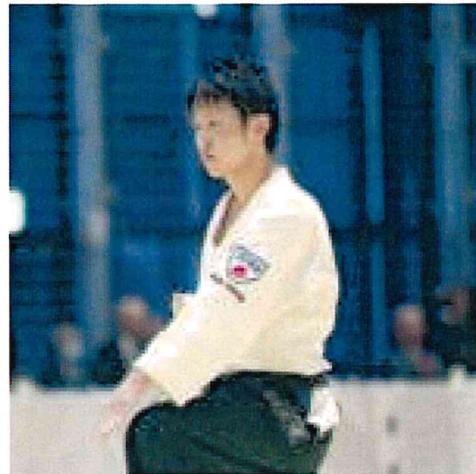


もう一年 まだ一年

理学療法士 坂本 稔

こんにちは。理学療法士の坂本稔と申します。早いものでだんだん会にお世話になってからもうすぐ一年が経とうとしています。元々整形のクリニックに勤めており、訪問リハについてはわからぬことばかりで当初は不安な気持ちもありましたが、先輩方の在宅ケアに対する考え方や姿勢、“熱量”に触れて、自分自身も地元北杜市に貢献したいと強く思うようになりました。特に利用者様の日々の生活や人生そのものに関わらせていただくということに、責任と難しさとそれ以上の大きな喜びを感じております。ここで働いていることは本当に感謝の一言に尽きると思います。

もう一年なのか、まだ一年のかはわかりませんが、一歳だった息子も少しずつ話ができるようになり、訪問リハとは別に「リハ特化半日デイるんるん」も掛け持つなど様々な変化もありました。まだまだ未熟で戸惑うことが多いですが楽しく有意義に日々を過ごしていますので、これからもどうぞよろしくお願いします。



さて話は変わりますが私は柔道（たいどう）という武道を習っています。兄の影響で小学一年から始め、有難いことに今では選手の傍ら指導者としても携わっています。そもそも柔道ってなんぞやと思う方もいると思いますが、簡単に言うと空手と体操を足して2で割ったような武道です。なので私自身バク宙もしますし実戦で突いたり蹴ったりもします（よくそうは見えないと言われますが…）。11/21には長野県で二年ぶりの全日本大会も開催されるので、そこで優勝できるよう日々稽古に励んでいます。良い結果が報告できるよう頑張りますので、皆様も少しでも応援して頂けたら幸いです。

世界大会でも何度も優勝しているんですよ。

今回も頑張れ！！（応援団）

一般社団法人だんだん会

<長坂事務所>

- ・法人本部 0551-45-9566
- ・地域看護センターあんあん 0551-30-7505
- ・定期巡回てくてく24 0551-30-7787
- ・訪問介護にこにこ 0551-30-7787

408-0035 山梨県北杜市長坂町夏秋 918-5

<小淵沢地域>

- ・わがままハウス山吹 0551-45-6323

408-0044 北杜市小淵沢町 10123-2

<白州地域>

- ・グループホームわいわい白州 0551-30-7566

408-0315 山梨県北杜市白州町白須 1023

<オレンジ館（長坂上条）>

- ・オレンジデイほかほか 0551-30-7509
- ・リハ特化半日デイるんるん 0551-30-7509
- ・オレンジサロン長坂・白州

408-0021 北杜市長坂町長坂上条 436-4